

Citation: Cahill K, Ussher MH. Cannabinoid type 1 receptor antagonists (rimonabant) for smoking cessation. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2007, Issue 4. Art. No.: CD005353. DOI: 10.1002/14651858.CD005353.pub3.

CRG名: Tobacco Addiction

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 5 August 2007

Clib issue No.; N/U: 2009, Issue 1, Updated

背景: リモナバンは、選択的カンナビノイド I 型受容体拮抗薬であり、ニコチンの継続使用によって破綻する内在性カンナビノイドシステムの均衡を回復させることにより禁煙を補助すると考えられる。また、多くの喫煙者が体重増加を懸念して禁煙持続を渋っているという事態にもリモナバンは対処できる可能性がある。

目的: 選択的カンナビノイド I 型受容体拮抗薬が、禁煙者数を増加させるかを究明する。禁煙を試みて成功したものと失敗した者におけるこれらの薬剤の体重変化への影響を評価する。

検索戦略: Cochrane Tobacco Addiction Review Group Specialized register for Trialsから、タイトル、抄録、キーワードに「リモナバン」および「喫煙」という単語が使われている試験を検索した。またMEDLINE, EMBASE, CINAHL, PsycINFOについても主要なMeSHの用語を用いて検索を行った。2005年米国胸部学会、2006年の欧州ニコチン・たばこ学会(Society for Research on Nicotine and Tobacco)における予備試験結果のポスターを電子媒体、または紙媒体によるコピーで入手した。また、リモナバンにおける研究を実施中の研究者ならびにリモナバンの製造を行っているSanofi Aventis社との接触を試みた。

選択基準: 研究のタイプ ランダム化比較試験(RCT)。

被験者のタイプ 成人喫煙者。

介入タイプ リモナバンのような選択的カンナビノイド I 型受容体拮抗薬。

アウトカム指標のタイプ 治療開始後最短で6か月間の喫煙状態を主要アウトカムとした。評価については、調査時点における喫煙割合(点喫煙率)よりも禁煙の持続率を、自己申告による禁煙よりも生化学的に実証された禁煙を優先した。脱落もしくは追跡中の行方不明者は継続喫煙者とみなした。治療における有害作用についてはすべてを採り上げた。副次アウトカムは、禁煙試行に関連した体重変化とした。

データ収集と分析: 2人の著者が抄録の妥当性を精査し、試験の完全報告の入手を試みた。1人の著者がデータを抽出し、2番目の著者がそれを精査した。

主な結果: 設定した選択基準に合致するものは、1,567人の喫煙者(禁煙の試験: STRATUS-EUと STRATUS-US)ならびに1,661人の禁煙者(再喫煙予防の試験: STRATUS-WW)をカバーしている3つの試験であった。(注 STRATUS: STudiesRimonabant And Tobacco Use)1年間におけるリモナバン20mg服用に対する禁煙の統合リスク比(RR)は、1.50(95%信頼区間(CI) 1.10~2.05)であった。リモナバン5mg服用では有意な利益は示さなかった。有害事象には、吐気、上気道感染が含まれていた。

再喫煙予防の試験では、20mg服用して禁煙した喫煙者は、実薬のその薬用量でもプラセボ群より禁煙を維持しやすく、20mg維持群におけるリスク比は1.29(95%信頼区間1.06~1.57)、5mg維持群では1.30(95%信頼区間 1.06~1.59)であった。5mgで禁煙した群に対する維持療法では有意な利益はみられなかった。

体重増加は、5mg服用群やプラセボ群よりも20mg服用群のほうが有意に軽微であった。治療期間中、過体重や肥満の喫煙者では、体重が減少する傾向にあったが、正常群では見られなかった。

薬剤の市販後調査により、欧州医薬品庁は製造会社に対して精神疾患との関連を理由にリモナバンの回収を求めた。

レビューアの結論: 得られた予備試験の報告によると、リモナバン20mgは、禁煙率を約1.5倍増加させる可能性があることを示唆している。

有害事象としては、吐気、上気道感染が挙げられ、重篤な有害事象の危険性は低いと報告されている。しかしながら、2008年10月、薬品の市販後調査によって、精神疾患との関連を理由に欧州では所用薬としてのリモナバンは回収された。

リモナビンの禁煙維持に関するエビデンスは結論に到達していない。リモナバン20mgは長期的には体重増加を軽減する可能性がある。

(翻訳 小原由紀・監訳 森 亨; JCOHR)

翻訳公開日: 10年7月1日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは毎月、改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。